

教 科	国語	科目名	現代文B	単位数	2
学 科	全学科	学 年	2 学年	履修区分	必修
使用教科書	数研出版『新編現代文B』				
副教材など	常用漢字クリア、クリアカラー国語便覧、国語辞典、				

1. 科目の目的

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

- ・論理的な文章を扱う場合、構成や展開に注意して内容を理解し、主題を的確にとらえることを目指します。また、必要に応じて要 約も行います。
- ・文学的な文章を扱う場合、人物や情景、心情などを表現に即して読み味わい、書き手の意図を的確にとらえることを目指します。
- ・文章を読んで批判することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする態度の育成を目指します。
- ・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することを目指します。
- ・漢字の読み、書き、語句の意味、用法を的確に整理し、語彙を豊かにすることを目指します。
- ・文や文章の組み立て、表記の仕方などを理解し、目的や場に応じた表現を身につけるとともに、さまざまな表現方法、伝達方法についても学びます。

3. 学習する上での留意点

- ・準備をするように指示された教材は、必ず学校へ持参すること。また、配布されたプリント類はノートに貼るなどして整理に努めること。
- ・不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な理解や表現に努めること。
- ・家庭学習課題として出されたものは、辞書や便覧等を利用して自分の力で言い、提出期限を厳守すること。また、やむを得ず期限を遅れる場合は、必ずその旨を教科担当者へ連絡すること。
- ・日ごろから新聞や書物を読んで、自分の考えを表現するための材料集めに努めること。

4. 課題等について

- ・語彙を豊かにし、国語についての知識を深めるために、主に常用漢字クリアやクリアカラー国語便覧をもとにした家庭学習課題を出すことがあります。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評 価 規 準
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	1. 文章の内容や特色を進んで読み取り、自分の意見や考えを広げたり深めたりしたか。 2. 言葉に関心を持って適切に使用したり、自分の考えを進んで伝えたりしたか。 3. 辞書や図書館などの資料を利用し、疑問点や興味のあることを進んで調べようとしたか。
話 す ・ 聞 く 能 力	1. さまざまな問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて話したか。 2. 目的や場面に応じて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしたか。 3. 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場に立って話し合いを行ったか。
書 く 能 力	1. 相手や目的に応じて題材を選び、効果的な表現を考えて書いたか。 2. 論理的な構成を工夫し、自分の考えを深め、文章にまとめたか。 3. すぐれた文章に接してその条件を考え、自分の表現に役立てたか。
読 む 能 力	1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。 2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心理描写や情景描写を味わったか。 3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。
知 識 ・ 理 解	1. 目的や場に応じた話し方や言葉づかい、文法、漢字等を理解して、語彙を豊かにしたか。 2. 国語の成り立ちや特質、言語の役割などを正しく理解したか。

6. 評価の方法

- ・定期考査
- ・小テスト
- ・教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度
- ・授業ノート
- ・作品
- ・家庭学習課題の提出状況

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一学期	4	授業を受けるにあたっての心構えについて 春季課題復習 第Ⅰ章 随想「素直に生きる」(森博嗣)	・春休みの課題を確認する。 ・「やりがいを持って生きる」ことについて、自己の生き方に引きつけて考える。	定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況により、総合的に評価する。
	5	第Ⅰ章 詩「未確認飛行物体」入沢康夫 中間考査	・「薬缶」や「白い花」が例えられているものが何かを読み取る。	
	6	第Ⅰ章 小説「鉄のしぶきがはねる」(まはら三桃) 第Ⅰ章 評論「失敗談」(外山滋比古)	・主人公の「ものづくり」に対する思い、葛藤を乗り越えて成長する姿を読み取る。 ・失敗することから偶然発見が生まれるという論旨を詠み、失敗を恐れず突き進むことの大切さを知る。	
	7	期末考査 第Ⅰ章 小説「蘭」(竹西寛子)	・第二次世界大戦中の不自由な人々の暮らしを知り、父親の主人公に対する愛情の深さを読み取る。	
	9	第Ⅰ章 随想「伝える極意」(長井鞠子) 中間考査	・「伝わる」とは相手の心に届くことだという筆者の経験に裏打ちされた思いを理解する。	
	10	第Ⅰ章 評論「建築とは何か」(藤森照信)	・筆者が述べる「懐かしい」という感情と建築物が密接に関係するという考え方を理解し、建築の持つ本質的な意味や価値について学ぶ。	
	11	第Ⅰ章 小説「山椒魚」(井伏鱒二)	・時間の経過に伴う登場人物の性格・心理の変化を読み取る。	
二学期	12	期末考査 第Ⅰ章 評論「ロボットと人間の未来」(石黒浩)	・ロボットを作ることは人間について深く知ることにつながるという、筆者独自の見解を読み取る。	
	1	第Ⅰ章 小説「こころ」(夏目漱石)	・先生とKの立場をつかみ、先生のKに対する複雑な思いを理解する。	
	2	学年末考査		
三学期	3	問題演習	・意見文作成や、朗読発表などの表現活動を行う。	